

ひるがみ

「天与の試練」

園長 岡庭保人

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症第一波襲来とともに幕を開けました。当初の予想に反し年末に至っても収束の気配は見られず、逆にウイルスがひたひたと足下まで迫り来る恐怖に身が竦む毎日です。

コロナ対応をはじめとしてこの一年間、ひたすら防御に徹してきました。利用者さんを守る、そのためにはまず職員を守る体制を構築する必要があります。

職員又は家族が南信州圏域から他地域へ移動する場合には「移動届出書」を事前に提出してもらい医務と相談の上自宅待機の期間を

設けました。年末の職員家族帰省時期には帰省自体を自粛してもらい、事情により止む無く帰省する場合は直前のPCR検査を条件としました。また、玄関と職員出入口に「顔認証温度検知システム」を導入し、発熱者の入園規制と職員の体調管理に活用中です。

一方、市立病院の感染管理認定看護師を招いての感染対策職員研修や医務室ナースを講師とした勉強会を数回にわたり実施し、職員全体の知識、意識の底上げならびに共有化を進めています。

園内の空気環境を整える取り組みも行っています。全てのエアコ

ン・換気扇のクリーニングを実施するとともに、ウイルスの不活性化、除菌、消毒の効力に優れたオゾン発生装置を各居室、食堂に設置しました。

こうした園・職員サイドの取り組みとともに、利用者さんにも協力をお願いしてあります。南棟、北棟それぞれの居室棟からは他棟に移動しないこと、苦手の方が多いマスクを極力着用願うこと、他の居室への出入りを控えてもらうことなどで

制限の多い生活は、ストレスを生じます。帰省や外出、面会も叶わぬ利用者さんに少しではあります但し楽しみを提供できればと考え、月一回日用雑貨の委託販売を始めました。また、食堂に六十

五インチ大型4Kテレビを設置し迫力ある大画面の映像を楽しんでいただいています。

私どもは、七月豪雨での避難実施を含め今年度経験した未曾有の出来事を「天与の試練」と捉え、職員全員が全力で立ち向かうことで当園の危機管理能力を高める取り組みを続けます。

しかしながら、新型コロナウイルスの流行、大災害頻発等、施設の努力だけでは対応できない事象も増えていきます。今後とも皆さま方のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



検温器を設置しました。

介護員室だより

Yさんの枕元の上にはキラキラ光る物が入った箱が吊るされてあります。それは、Mさんが「Y君はキラキラ光る物が好きだから。」

イレギュラー

かつては療育施設でも、養護学校でも、私が入る前までADLの完全自立がギリギリ最低限の受け入れ条件でした。身辺動作ができない私は、どこでも常に、重度障害児への対応を探るイレギュラーなケースだったみたいで、毎度の特別扱いに気持ちちは落ち着きませんでした。

ドに寝て食事を摂る私は、療護園でもイレギュラーな存在です。そんな私を職員さんたちは柔軟に、また自然に支援してくださり、ホッとします。

コロナ禍等を予防するため、園内では昨年来諸々の体制が一変しイレギュラーな出来事が続いています。どんな状況にも適応できるように、私自身、心の柔軟性だけは養いたいものです。

(利用者H・K)

は見ている側が幸せになるような、こちらまでもがつかれて笑顔になるような笑顔なのです。その笑顔が見たくて箱をカサカサと動かしてしまいます。たぶん今日もYさんの笑顔が見たくて箱を振っている事でしょう。

Mさんは入所している棟が違いますが、食事の席が近かった事もあり気にかけてくれるようになりました。「Y君かわいいな。」と居室に来てくれば声を掛けてくれます。Mさんの声を聴いて笑ってくれる時もあります。今は、新型コロナウイルスの影響で棟が違う人とは会う事が出来ませんが、早く新型コロナウイルスが収束して二人が会って笑いあう事が出来ればと願っています。

(M・W)

飯田市立病院感染症対策研修

療護園の利用者は基礎疾患があり重度の障害を抱えています。新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクがとても高く、施設看護職員として大きな不安と焦りを感じています。

感染が広がり出した頃、色々な見識者が様々な事を言っており、コロナウイルスに対して一番効果的な感染対策は何なのか？分からなくなっていました。



研修の様子になります。

飯田市立病院、櫻井さん(感染管理認定看護師)の研修に参加しまして、一番大切な「感染しない・感染させない事」を分かりやすく説明して頂きました。

櫻井さんは、飯田市立病院でコロナ陽性患者に徹底した感染対策を行い、誰一人と感染を広めることなく治療し退院させる事ができたそうです。

私は、地域に感染の専門家がいることに安心し、頼もしく思いました。

新型コロナウイルスの脅威が続いておりますが、職員一人一人の感染対策を徹底・継続し、嘱託医の先生、保健所と連携をとり何とか乗り越えていきたいと思っております。

(S・S)

新任職員挨拶

三人の頼れる新しい仲間を紹介します

まずは支援員を紹介
します。

一人目は：
期待のホープ

篠原幹弥さん

十月からお世話にな
っている篠原幹弥です。
私は前職では認知症
のケアを主に行う施設
で勤めておりましたが、
こちらの施設での業務
は今までしてきた介護
と異なることも多く、分
からない事や、不安なこ
とが沢山ありました。
しかし先輩方が一か
ら丁寧に教えて下さり、
利用者様一人一人の名
前や介助の仕方などを
徐々にですが覚えてき
きました。

まだまだ分からない
事、できない事も多く
ありますが仕事を覚え
たり、利用者様に挨拶
やお話を聞かせて頂い
たりするととても嬉し
く感じながら働かせて
頂いています。

早く仕事を覚えて利
用者様や職員にも頼っ
てもらえるような人に
なりたいと思います。

これからよろしくお
願いいたします。

続いて二人目は：
明るい笑顔がすてきな

高橋理恵さん

十一月からお世話に
なっております高橋理
恵です。

コロナウイルスで仕

事が減って困っていた
ところ、療護園で勤務
しているママ友に声を
掛けていただきまし
た。



まったく未経験の私
が人の介護なんてでき
るのかなあと悩みまし
た。

人手が足りない中、
先輩方のうしろを金魚
のフンのようについて
まわる私を嫌な顔せ
ず、解りやすく教えて
くれ、利用者の方々も
話しかけてくれ受け入
れてくれました。とて
もうれしかったです。

車イスに乗せる時
や、排泄の手際の良さ
を見て、カッコいいな
あと、私も早く仕
事を覚えて利用者さん

とスキップをたく
さんとお役にたて
るようになりたいで
す。

どうぞよろしくお願
いします。

最後に、厨房職員待
望の調理員

村上優一さん

十月から調理員とし
て勤務させていただい
ている村上優一です。

子供の頃から料理を
作ることが楽しくて、
高校卒業後は就職して
調理師を目指しまし
た。

調理の経歴だけで言
えば今年で十一年目に
なります。飲食店での
アルバイトやホテルで
のオーブンキッチン調
理、病院での大量調理
など、自分でも節操な
く色々な経験を積んで
きたなあと、思います。

仕事に慣れるまで大
変と思いますが、よろ
しく願います。

食事というのは人間
にとって欠かすことの
できないものです。生
命活動の維持はもちろ
ん、自分がおいしいと
感じるもの、好きなも
のを食べることによっ
て幸福感を得られるか
らです。

これからも安心安全
でおいしい食事を作っ
て、食べる皆さんの生
活の一部をサポートす
ることができればいい
など思っています。今
後ともよろしくお願
いします。

調理の経歴だけで言
えば今年で十一年目に
なります。飲食店での
アルバイトやホテルで
のオーブンキッチン調
理、病院での大量調理
など、自分でも節操な
く色々な経験を積んで
きたなあと、思います。

仕事に慣れるまで大
変と思いますが、よろ
しく願います。



仕事に慣れるまで大
変と思いますが、よろ
しく願います。

忘年会

今年度の忘年会は新型コロナウイルスの対応で北棟、南棟に分かれての開催となりました。

また利用者さんにもマスクを着用して頂

き、会場の換気、ソーシャルディスタンスなど感染症対策を徹底して行いました。

余興ではいくつかのゲームをして楽しめました。まずは職員による叩いてかぶってジャンケンポンです。白熱

白熱したゲームが繰り広げられました



ジェスチャーゲーム
何をしているところでしょう



お弁当とプレゼントの中身が気になります

はもちろん、見ている人達もドキドキワクワクして過ごしました。

他には職員や利用者さんの小さな頃の写真を画面に映して誰の写真か答えるゲームや、ジェスチャーゲームでは皆さん真剣に考え、積極的に答えて沢山の笑顔が見られました。

昼食会はスペシャル弁当でした。彩り豊かな盛り付けでどれも手の込んだ料理の数々でした。ボリューム満点で、「豪華ですごく美味

しい」と完食されました。今年度はコロナ禍で外出は中止、面会も制限され我慢の連続だったと思います。そんな利用者さんの楽しんでいる姿が見られ、とても嬉しく思いました。利用者さん、一年間お疲れ様でした。

(Y・K)



彩り豊かなお弁当でした。

現況報告

令和三年一月一日現在

利用者 四十八名

職員 四十四名

(非常勤職員を含む)

面会禁止のお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、当園では玄関ガラス越しでの面会方法を継続してまいりました。

しかし、厳寒期を迎え他の感染症の発症リスクも高まっていることから、利用者様の健康維持を鑑み当面の間「面会禁止」とさせていただきます。

誠に申し訳ございませんが、状況をご賢察の上ご理解頂き、今後とも当園の運営にご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

